

2024 エグゼクティブ・コース
のご案内

EXECUTIVE

第27回テーマ

「生成AIが拓くファッション産業の未来」
～アジャイルでレジリエントな組織作りを目指して

2024年 7/20(土)・21(日)
於：ホテルニューオータニ

IFIビジネス・スクール

第27回 エグゼクティブ・コース

「生成AIが拓くファッション産業の未来」 ～アジャイルでレジリエントな組織作りを目指して

2022年末のウォーレン・バフェット氏による日本商社への投資を契機に始まった日本企業株価の上昇傾向は、'24年2月現在も続いています。

いよいよ日本企業は失われた20年、30年を脱却したとのポジティブな声がある一方、資本家のリスク回避の結果だ、円安効果だと、懐疑的な声も聞かれます。

だからこそ、2024年は、成長を継続し、日本企業の変革が本物であることを世界に示さないとはいけません。そしてその核心にはAIの活用があります。

しかしAIのビジネスへの活用が急速に進展し、地政学上の問題がますます複雑化する今日、それは決して容易なことではありません。

暗黙知の強い日本企業でAIをどのように活用したら競争力は高まるのか、人口減少社会の中で、いかに生産性を向上させるのか、かつて日本企業の強みであったミドルの不活性化にどう対応するのか、地球環境問題の解決と企業の戦略をどう連動させるのか、ビジネスリーダーの頭を悩ます問題は増えるばかりです。常に新しい経営知識の獲得が必要になります。



予測し得ない変化が起こることが「常態」となった今日、どんな変化が起こっても、それにスピーディーに対応し、乗り越えていくことのできる「アジャイルでレジリエント」な組織作りに、ビジネスリーダーは努めなければいけません。

2024年のエグゼクティブコースでは、AI活用の「実践知」を魅力的なスピーカーから学びます。ぜひともご参加ください。

一條 和生 (いちじょう・かずお)

一般財団法人ファッション産業人材育成機構・IFIビジネス・スクール学長
IMD(スイス・ローザンヌ)教授

一橋大学大学院社会学研究科、ミシガン大学経営大学院卒
経営学博士(ミシガン大学)

一橋大学大学院社会学研究科教授、経営管理研究科教授を経て、一橋大学名誉教授。現在、IMD(スイス、ローザンヌ)教授

専攻は組織論(知識創造論)、リーダーシップ、企業変革論

現在、IFIファッションビジネス・スクール学長と並んで、株式会社シマノ社外取締役など4社での社外取締役、日本ナレッジマネジメント学会会長も務める。



旭化成におけるアジャイル経営に向けた 人材育成と組織風土づくり

旭化成のDXは、「デジタル導入期」、「デジタル展開期」、「デジタル創造期」を経て、「デジタルノーマル期」に入っています。「デジタルノーマル期」では、データやデジタルの活用が、全社員にとって当たり前となる企業を目指しており、アジャイル経営にもつながるものです。社会や産業の大きな変革に、企業全体が俊敏に対応するためには、全社員を対象にした「人材育成」、「データ活用」、「組織風土づくり」が最重要テーマです。「人材育成」と「組織風土づくり」を中心に、デジタルノーマルやアジャイル経営に向けた具体的な取組みや事例を紹介します。

久世 和資(くせ・かずし)

旭化成株式会社 取締役 副社長執行役員 研究開発・DX 統括

1987年に筑波大学大学院工学研究科修了。工学博士。同年に日本IBM入社。東京基礎研究所にてプログラミング言語やソフトウェアエンジニアリングの研究領域をリード。2005年に執行役員。東京基礎研究所所長、システム開発研究所長、サービスイノベーション研究所長、未来価値創造事業部長、開発製造担当、研究開発担当を歴任し、2017年より最高技術責任者(CTO)。2020年7月旭化成に入社、執行役員エグゼクティブフェロー。2021年4月に常務執行役員。2022年6月に取締役 専務執行役員 デジタル共創本部長。2024年4月より現職。



社会課題解決企業への挑戦

丸井グループは2019年に「VISIO2025」を公表し、その中で「社会課題の解決(インパクト)と利益の二項対立を乗り越える」というビジョンを掲げました。しかしながら、「社会課題の解決」と「利益追求」の両立は相当困難で、過去の延長線上では到底実現できません。私たちはこの高いハードルをクリアするために、「創造力」を全開にすることが不可欠だと考えています。今回は私たちが創造力を全開にするために行ってきた「イノベーション」を起こしやすい組織風土づくりや今後さらに進化させたい働き方と組織のイノベーションについてご紹介いたします。

加藤 浩嗣(かとう・ひろつぐ)

株式会社丸井グループ 取締役常務執行役員 CFO

1963年、東京都生まれ。1987年、早稲田大学政治経済学部を卒業後、株式会社丸井(現:株式会社丸井グループ)に入社。丸井営業店、財務部等を経験後2005年より経営企画部、2013年経営企画部長に就任。2015年IR部、2016年ESG推進部、2019年サステナビリティ部を新設し担当役員就任(現任)。2019年取締役常務執行役員CFO就任(現任)。2020年共創投資推進のためのCVC:株式会社D2C&Co.を設立し取締役社長を兼務。



「ともに挑む。ともに実る。」カルチャー改革

急速なビジネス環境の変化に対応するために、多くの企業が変革を迫られる中、みずほフィナンシャルグループは新しいパーパス「ともに挑む。ともに実る。」を昨年5月に掲げました。持続的な成長を目指してカルチャー改革を推進し、時には遊び心も織り交ぜながら、様々な取り組みを行っています。本セッションでは、日本のビジネス環境の変化を俯瞰しつつ、取り組みの具体例等について紹介します。

秋田 夏実(あきた・なつみ)

株式会社みずほフィナンシャルグループ 執行役 グループ CCuO 兼 グループ CBO

〈みずほ〉のCCuO兼CBOとして、グループ全体のカルチャー改革、コミュニケーション活性化、ブランドマネジメント等を担う。

〈みずほ〉入社前は、米国IT企業のアドビの日本法人副社長として、日本のマーケティングおよび広報を統括すると共に、DEIの推進、自由闊達な組織風土の醸成に取り組む。それ以前は約20年に渡って金融業界に身を置き、マスターカードの日本地区副社長、シティバンク銀行デジタルソリューション部長などを歴任。



■ ご 挨拶 ■



平素は、一般財団法人ファッション産業人材育成機構・IFIビジネススクールにご高配を賜り厚く御礼申し上げます。昨年5月に新型コロナウイルス感染症の位置付けが5類へと移行となり徐々に平常を取り戻しマーケットも回復に向かい、アパレル及びリテールの売上、業績ともに大幅に改善してまいりましたが、一方で急速な円安、原材料価格の高騰、人手不足に加えて世界的なインフレ等、ファッションを取り巻く環境はまだ楽観視できるものではありません。是非このエグゼクティブコースセミナーを通して、講師の方々、経営トップの方々との交流、多くの学びが貴社のイノベーション推進のきっかけとなり、業界のますますの発展につながることを願っています。

ご多忙とは存じますが、万障お繰り合わせの上、当セミナーへの皆様のご参加をお待ちしております。

一般財団法人ファッション産業人材育成機構 理事長 萩平 勉

■ スケジュール ■

■ 7月20日(土)

時 間	内 容		会 場
10:00	受講生集合		「舞の間」
10:00~10:10	挨拶/ガイダンス	理事長 萩平 勉	
10:10~10:40	自己紹介		
10:40~11:50	オープニング・セッション	「生成AIが拓くファッション産業の未来」 ～アジャイルでレジリエントな組織作りを目指して 学長 一條 和生	「翔の間」
11:50~13:00	昼食		
13:00~14:40	セッション1 トークセッション/質疑	「旭化成におけるアジャイル経営に向けた人材育成と組織風土づくり」 旭化成株式会社 取締役 副社長執行役員 久世 和資 氏	「舞の間」
14:55~16:35	セッション2 トークセッション/質疑	「社会課題解決企業への挑戦」 株式会社丸井グループ 取締役常務執行役員CFO 加藤 浩嗣 氏	
16:50~17:50	ディスカッション		
17:50~18:00	本日のまとめ	学長 一條 和生	
18:00~	チェックイン		「翔の間」
19:00~	懇親会		



■ 7月21日(日)

時 間	内 容		会 場
9:30	はじめに	学長 一條 和生	「舞の間」
9:40~10:50	セッション3	「ともに挑む。ともに実る。」カルチャー改革 株式会社みずほフィナンシャルグループ 執行役員グループCCuO兼CBO 秋田 夏実 氏	
11:05~11:45	トークセッション/質疑	秋田 夏実 氏 * 一條学長	
11:45~13:00	昼食		「翔の間」
13:00~15:00	クロージング・セッション ディスカッション	学長 一條 和生	「舞の間」
15:15~15:50	まとめ	学長 一條 和生	
15:50~16:00	閉講	理事長 萩平 勉	「翔の間」
16:00	記念写真撮影		

■ ご案内 ■

■ 開催要綱

- 【開催日】** 2024年7月20日(土)～21日(日)
- 【会場／宿泊】** ホテルニューオータニ
〒102-8578
東京都千代田区紀尾井町4-1
TEL：03-3625-1111(代)
- 【対象】** 経営者・経営幹部役員及び、役員候補の方
- 【定員】** 40名
- 【受講料】** おひとり様 242,000円(消費税込)
※7月20日の宿泊費および20日昼から
21日昼までの食事代を含みます
女性幹部候補の方のご参加を歓迎いたします

■ お申込方法

- ①ホームページより
<https://www.ifi.or.jp/course/executive.html>
- ②Eメール
別添の申込書に所定の事項を
ご記入の上PDFにてお送り
ください
【送信先】 nagai@ifi.or.jp
- ③ファックス
別添の申込書に所定の事項をご記入の上お送り
ください
【送信先】 03-5610-5710 (FAX)



■ 会場のご案内

ホテルニューオータニ
<https://www.newotani.co.jp/tokyo/access/>
ザ・メイン アーケード階(地下1階)「舞の間」
<https://www.newotani.co.jp/tokyo/map/>

■ お問い合わせ

一般財団法人ファッション産業人材育成機構
IFIビジネス・スクール「エグゼクティブ・コース」
【担当】 永井
Eメール nagai@ifi.or.jp
TEL 03-5610-5701(代)

■ IFIビジネス・スクールについて ■

日本のファッション・ビジネスの次代を拓く「人材」を育成します

グローバル化、技術革新、消費者のライフスタイルの多様化など、ファッション産業を取り巻く環境は、目まぐるしいスピードで変化しつづけています。こうした時代の変化に対応し、国際的な視野を持つプロフェッショナルな人材を育成するため、国、自治体、業界の企業の支援を受け、一般財団法人ファッション産業育成機構が設立されました。IFIビジネス・スクールは、この財団法人が運営する、世界でもユニークなビジネス・スクールです。

実際のビジネスを体で覚える「実学」の精神を基本に、モノ作りから小売に至るまでの全般に通じる業界のリーダーとなる人材の育成を通じ、繊維ファッション業界の発展に貢献します。

■ IFIビジネス・スクールの歴史

- 1992年 財団法人ファッション産業人材育成機構 設立
1998年 IFIビジネス・スクール開校(学長 山中鎖)
1999年 尾原蓉子学長就任
2000年 IFI総合研究所設立、大学講座・カスタムメイドプログラム スタート
2006年 eラーニング講座スタート
2011年 「IFI繊維ファッションビジネス研究会」発足、第1回研究会を開催
2013年 エグゼクティブ・フォーラム「日本のファッションを元気にする会」第1回開催
2014年 一條和生学長、花崎淑夫名誉学長就任
2017年 財団設立25周年 IFIビジネス・スクール開講20周年「感謝の集い」
2022年 財団設立30周年 IFIビジネス・スクール開講25周年

